

交通安全は家庭から

春の交通安全健民運動

5月11日～20日

五月一日(水)から二〇日(金)までの一〇日間、「春の交通安全健民運動」が実施されます。

交通安全事故による死者数(全国)

は、ここ数年はほぼ横ばいで推移していましたが、昭和五十七年は前年に比べ三五四人(四・一%)増加し、昭和五十一年以来六年ぶりに九〇〇〇人を超えました。長門警察署管内でも昨年七三件の事故が発生



わきみ運転による事故(河原)

生し、九二人の負傷者がでています。

今年には次の四つを重点目標として、運動が展開されます。

- ▽歩行者、特に子供と老人の交通事故防止
- ▽自転車の安全利用の促進
- ▽自動車二輪車・原動機付自転車の安全利用の徹底
- ▽安全運転の確保

安全行動の

とれる家庭環境を

家族が、交通事故を起こしたり被害にあっても、平和な家庭は一度に破滅します。

家族のみんながいつも事故防止に心がける習慣を身につけ、家庭生活の悩みを交通行動に持ち込まないようしましょう。
又、睡眠不足やストレスがたまらないように健康管理には特に気をつけましょう。

歩行者の

交通事故防止

横断歩道のない道路を横断するときは、安全な場所を選び、横断する前は必ず安全を確認し、横断中もまわりによく気をくばるな

ど、「安全な横断」の習慣を身につけましょう。

自転車の

交通事故防止

自転車運転するときには、特に次のことに注意しましょう。

- せまい道から広い道に出る時は必ず一たん停止をし、進路変更や右折するときには必ず安全を確かめましょう。
- 左折する大型車の死角と内輪差に十分注意しましょう。

バイクの

交通事故防止

原動機付自転車を運転しているみなさん。事故を起こさないように、また事故に遭わないように次の点に注意して安全運転に心がけましょう。

- ヘルメットを正しく着用し、自動車の死角には接近しないようにしましょう。
- 交差点では一たん停止し、必ず安全を確認しましょう。
- 走行中は、安全速度を守り、前方と直前の路面を注視しましょう。

1 一時停止で横断歩行者の安全を守る
歩行者の交通事故で一番多いのが横断中の事故です。横断歩道を渡ろうとしている人を見たら、ドライバーは一時停止をして、道を譲らなければなりません。

2 交差点では必ず安全を確かめる
交通事故の約60%は交差点で起こっています。イソップ物語に丸木橋を両端からヤギが渡りはじめ、お互いに譲り合わなかったので二頭とも落ちてしまったという話があります。交差点もいわば道路の「丸木橋」。ドライバーの方は交差点の手前では必ず安全を確かめ、イソップのヤギにならないようにしましょう。

3 安全速度を必ず守る
車の制限速度はどのようにして決められているのかご存じですか。車両や歩行者の交通量、交差点の間隔、信号などの整備状況、沿道の家屋の状況などを考慮し決められています。ですから、制限速度を守ることは安全運転の第一歩です。
スピードの出し過ぎで他人に迷惑がかからないよう安全速度を守りましょう。

ハンドルを握ったら必ず守ろう 安全運転5則

4 カーブの手前でスピードを落とす
カーブを制限速度以上のスピードで曲がるのは「自殺行為」です。カーブの手前では必ずスピードを落としましょう。速度を落とさずカーブにさしかかり、曲がりきれないことに途中で気付いても、もう手遅れです。

5 飲酒運転は絶対しない
「ちょっと飲んだだけだから」という勝手な自己判断はドライバーにとって厳禁です。お酒を飲むと判断力が鈍り、危険を危険とも思わなくなります。「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバー一人一人が自覚しましょう。